



2026/03/20 (金・祝) 「おどろき! とどろき! 魅力発見ウォーク」コース 約5 km

ほりうちょうじよし
①堀内氏善の墓 宇土市指定史跡

浄土宗寺院の三宝院の境内にあります。堀内氏善は、戦国時代の武将で、紀伊国（和歌山県）新宮城を居城として、熊野地方を治めていました。

関ヶ原の戦いでは西軍に属し、戦後に加藤清正に仕え、慶長14年（1609）にこの地で亡くなりました。



てんじんくす
④栗崎の天神樟 県指定天然記念物

幹囲12.3m、樹高27.5m、枝張り東西33mの広がりを持ち、樹齢400年以上。遠くから見ると1本のクスノキなのに森のようにみえます。戦前までは毎年12月に境内で「火焚き祭り」が行われ、薪を積み上げて枝に火が届くように大きな炎を上げていました。



⑦中世宇土城跡（西岡台） 国指定史跡

通称「西岡台」。鎌倉時代末期からは宇土氏が、戦国時代には名和氏が在城しました。「千畳敷」と呼ばれる郭と「三城」と呼ばれる郭の2つが並んだ連郭式のお城です。

天正16年（1588）に小西行長が新たな宇土城（城山）を築き、廃城になりました。



⑩轟水源 宇土市指定史跡

「日本名水百選」の轟水源は、毎分4,200Lの湧水量があり、豊かでおいしい水を人々に提供しています。

古くから名水として知られ、江戸時代には肥後三轟水の第一にあげられています。

国内最古の現役上水道「轟泉水道」の取水池。



ごせんすいどう
②轟泉水道 宇土市指定史跡

総延長約4.8kmの江戸時代の上水道。寛文3年（1663）に松橋焼で水道管を造り、宇土町まで水道を引きました。

約100年後には馬門石製の水道管に取り替えられました。

現在も約60戸がこの水道を使用している、国内最古の現役の上水道。



馬門石製の水道管

⑤近世宇土城跡（城山） 宇土市指定史跡

通称「城山」。キリシタン大名・小西行長が自身の居城として築いたお城。東西150m・南北130mの本丸を中心として二ノ丸・三ノ丸を備えていました。

慶長5年（1600）には加藤清正から攻撃を受け落城。その後、清正が改修し、清正死後の慶長17年に破却されて廃城。



小西行長

⑧西岡台貝塚

中世宇土城跡がある西岡台丘陵の西端部に位置する縄文時代前期～後期の貝塚。幅50m程の狭い谷を挟んで国史跡轟貝塚と向かい合い、形成された時期もほぼ同じ。

昭和58年度の発掘調査で、ドングリを湧き水に漬けて保存した貯蔵穴が発見されました。



⑪宇土市大太鼓収蔵館 国指定重要有形民俗文化財

平成29年（2017）に国重要有形民俗文化財に指定された29基の「宇土の雨乞い大太鼓」を収蔵・展示する施設。

平成3年（1991）開館。

大太鼓は江戸時代から明治時代にかけて作られ、雨乞い行事やお祭りなどで使用されました。



しらぬいだくえもん
③不知火諾右衛門の墓 宇土市指定史跡

栗崎村出身の第8代横綱・不知火諾右衛門の墓。享和元年（1801）生まれ、嘉永7年（1854）死去。大坂相撲や江戸相撲で活躍し、天保11年（1840）に横綱昇進。現在も受け継がれている横綱土俵入りの型「不知火型」を考案したといわれています。



⑥西岡神宮

和銅6年（713）創建。春日大神・住吉大神・八幡大神の三柱を祀る。江戸時代までは「三宮社」と呼ばれ、明治4年（1871）に西岡神宮に改称。古くから宇土の総鎮守として信仰を集めています。

毎年10月19日の例大祭には、神幸行列、宇土の御獅子舞、流鏝馬、飾り馬が奉納されます。



⑨轟貝塚 国指定史跡

轟式土器の標式遺跡（時期区分の基準となる遺構、遺物が検出された遺跡のこと）として著名な貝塚です。

縄文時代早期（約7,000年前）からこの地で人々が生活を営んでいました。

令和4年（2022）に国史跡に指定されました。



作成

宇土市教育委員会文化課

〒869-0492 宇土市浦田町51

電話：0964-23-0156

FAX：0964-23-1002

Mail：bunka03@city.uto.lg.jp

宇土市の文化財をもっと知りたい方は
宇土市デジタルミュージアムで検索してください。

